

里山を守るジビエ事業の展開

- ▶ ジビエ事業の展開
- ▶ ジビエ事業の課題
- ▶ 地域活性化の取り組み



宇佐ジビエファクトリー

宇佐ジビエファクトリー



信頼の国産ジビエ認証施設
です。

安心安全、その上 無添加！
独自の技術により、美味し
いジビエをお客様にご提供
します。

人が食べがたいジビエは、
大分サファリパークの猛獣
たちの餌やペットフードと
して提供します。

頂いた命を無駄にしません。

子どもたちが食べられるものを作りたい。
安心安全で、おいしいジビエ



生産者インタビュー

「安全安心で、おいしいジビエを作りたい。子どもたちが食べられるものを作りたい。」
— 宇佐ジビエファクトリー 代表取締役 佐々木 誠 —

「安全安心で、おいしいジビエを作りたい。子どもたちが食べられるものを作りたい。」
— 宇佐ジビエファクトリー 代表取締役 佐々木 誠 —

66 学校給食と食堂でキャンセムを 79



「安全安心で、おいしいジビエを作りたい。子どもたちが食べられるものを作りたい。」
— 宇佐ジビエファクトリー 代表取締役 佐々木 誠 —

「安全安心で、おいしいジビエを作りたい。子どもたちが食べられるものを作りたい。」
— 宇佐ジビエファクトリー 代表取締役 佐々木 誠 —

安心と安全の製品を、愛情を込めて皆様のもとへ。

安心院ソーセージ・ハム

「安心院ソーセージ」は、「身体にやさしい」をコンセプトに、化学調味料を使わず、天然素材にこだわって造り上げた自信作です。
「安心」「安全」「美味しい」の造り手の気持ちを込めて、子供達に胸を張って食べさせられるソーセージやハム、食肉加工製品を造っています。
また、直営店とトキハインダストリー四日市店の「総菜ひまわり」ちず会社で経営していますので、そちらでもお求め頂けます。



平成25年度(初年度)に、宇佐市の6次産品認証制度「宇佐ブランド」として認証を受ける。

ジビエ・食肉 処理加工の流れ



事業紹介

有限会社 **SUNSAY**

飲食店コンサルタント・開業・経営指導・食肉・食肉加工部
大分県宇佐市大字下高1724 Tel・Fax 0978-33-1185

株式会社 **えいと**

惣菜・弁当・オードブル
大分県宇佐市大字下高1724 Tel・Fax 0978-32-5438

Utsunomiya Game Meat Factory
宇佐ジビエファクトリー
大分県宇佐市内町番下130-1
Tel 0978-42-5777・Fax 0978-42-5773

安心院ソーセージ
大分県宇佐市内町番下130-1
Tel 0978-42-5777・Fax 0978-42-5773

井出・惣菜
大分県宇佐市先枝104-2
(トキハインダストリー四日市25内)
Tel 0978-33-0063

双犬舎レストラン
大分県宇佐市八幡西区千代・第1丁目15-11
Tel・Fax 0978-693-2882

博多本町 農家の一服
福岡県福岡市博多区上川崎町5-140
Tel・Fax 092-262-1586

新鮮野菜 地産地消
大分県宇佐市四日市1465番地
Tel 0978-35-0085



イノシシによる田畑への農業被害状況



シカによる杉への林業被害状況



シカの食害でオオキツネノカミソリ 開花せず 別府市の猪の瀬戸湿原、 個体数増が原因か

2023/08/10(木) 03:00



例年ならオレンジ色に染めているがことしはほぼ全滅
＝ 1 日、別府市東山の猪の瀬戸湿原

【別府】別府市東山の猪の瀬戸湿原に群生する「オオキツネノカミソリ」がシカの食害で開花しない状況となっている。例年は夏季に花を咲かせ一面がオレンジ色になるが、今年は草が生い茂っている。湿原を維持管理するNPO法人「猪の瀬戸湿原保全の会」によると、ヒガンバナ科で毒性があるため積極的に食べる対象ではなく、湿原周辺に生息する個体数の増加が原因と推測している。

鹿や猪による様々な被害が出てきている。

イノシシが掘った斜面から落ちた か、線路に7キロの石...運転士がど けて再開

2023/05/27 16:03

スクラップ



26日午後2時40分頃、大分県のJR豊肥線犬飼駅ー竹中駅間で、下り普通列車（2両編成）の運転士が、線路内に石（縦約20センチ、横約26センチ、重さ約7キロ）を見つけてブレーキをかけ、通過後に停止した。乗客20人にけがはなかった。運転士が石をどけた後、運転を再開した。



JR九州によると、現場近くの斜面の上付近にイノシシとみられる動物が地面を掘った跡があり、同社はここから落石したとみている。

「とっさに助けた」イノシシが農作業中の高齢者に咬みつく 近所の男性が狩猟用モリで仕留め救助 大分

2022年10月21日(金) 11:04



21日朝、大分県日出町で農作業をしていた85歳の男性が突然現れたイノシシに襲われました。21日午前6時50分頃、(85)が畑で作業中に突然3頭のイノシシが現れました。このうちの1頭が男…

イノシシがゴルフ客ら襲う 「大分富士見カントリー倶楽部」、6人けが

2020/01/28 18:23

社会



客や従業員がイノシシに襲われた大分市のゴルフ場
= 28日午後

近年では人間が襲われるケースも増加。

の間に、大分市横瀬のゴルフ場「大分富士見カントリー倶楽部」で、客や従業員が相次いで複数のイノシシに襲われた。

友達追加



FRIDAY



イノシシは猟友会のハンターが射殺。事件後に来客被害を告知し、再発防止に努めているという

わずか20分間の“襲撃”だったという

1月6日午後1時半ごろ、福岡県宮崎ゴルフ場『ザ・クラシックゴルフ倶楽部』で、周フェンスを突き破って、コース内に侵入。ラウンド中の老夫婦をめか、大ケガを負わせるという事件が起き

【観覧注意！】イノシシに立ち向かった従業員「40針縫う裂傷」痛まし

「老夫婦はともに緊急搬送された。様子のほうが重傷。現場に居合わせた



山の麓には全てフェンスが張り巡らされている

R02イノシシ捕獲（狩猟+有害）位置図
（口の数字は捕獲頭数を示す）

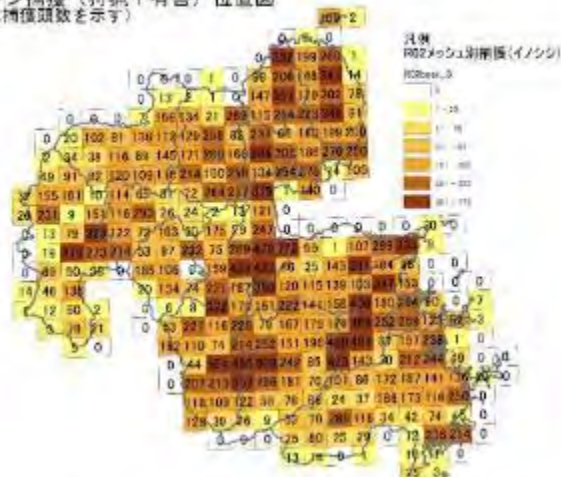


図1 令和2年度の捕獲場所から見る生息分布区域

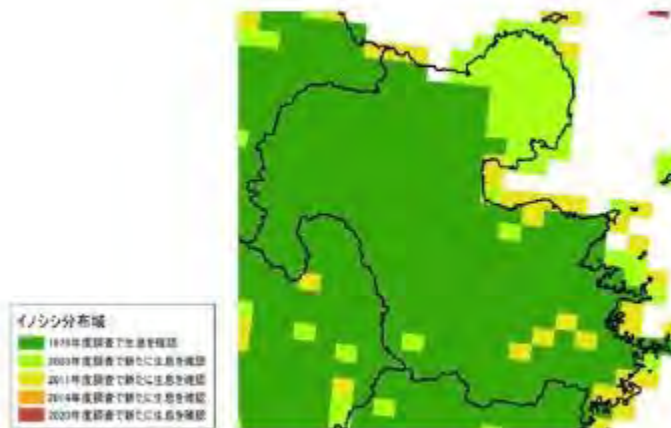


図2 令和2年度生息分布調査（環境省）による生息動向

休群と郡馬日田英彦山系連城個体群、祖母嶺山系地域個体群と郡馬日田英彦山系地域個体群が接近もしくは連続するようになった。

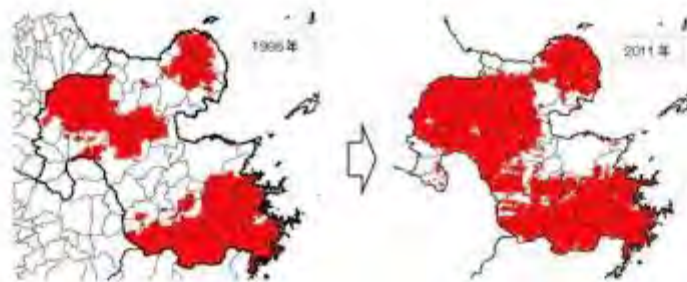


図2 ニホンジカの生息分布の推移

イ) 推計生息密度と推計生息頭数

令和2年度末時点の計算結果は表2に示すとおりであり、推定生息密度は、簡易法により実施した調査結果から算出し、推定生息頭数は、簡易法により実施した調査結果から算出し、推定生息密度をもとに面積分により算出した。

表2 令和2年度末のニホンジカの生息状況

管理地区	地区面積 (km ²)	推定分布面積 (km ²)	推定生息密度 (頭/km ²)	推定生息頭数 (頭)
A 四手山系	722.6	434	73.6	3,501
B 郡馬日田英彦山系	1,984.5	1,318	—	36,565
B1	864.5	679	36.4	30,064
B2	1,120.0	639	34.5	6,501
C (C1～C4)	1,708.0	1,314	33.7	39,969
D 祖母嶺山系	1,852.6	1,529	—	23,062
D1	277.4	165	1.1	3,713
D2	445.8	363	34.1	7,415
D3	825.7	691	26.2	7,591
D4	351.7	310	28.8	4,343
全県	6,267.7	4,596	—	103,097

管理の目標

現状では、依然として農林業被害及び自然生態系への影響が深刻であることから防護柵の設置等により緊急的な予防対策を実施しつつ、狩猟及び有害捕獲による獲を推進し、生息密度を目標値まで下げるとともに、分布域の拡大を抑制し、農業被害と生態系への被害を軽減する。前回の計画期間では、A地区、D地区で生息密度の低下が見られたものの、B地区では依然として高い生息密度で、これまで較的少なかったC地区において生息密度が高い地域も見られる。被害も依然として県下全域で見られることから、引き続き捕獲を推進し、管理目標の達成を図る。

管理目標：目標生息密度は3頭以下/km²とする。

イ) 目標を達成するための施策の基本方針

①基本方針

ニホンジカによる農林業被害を防止するため、「予防（集落環境）対策」「捕獲対策」「狩猟者確保対策」「獣肉利活用対策」の4つの対策を柱に総合的手段を講じ、特に「捕獲対策」を重点的に実施することで個体数を計画的に管理目標以下に誘導する。

②管理体制の構築

シカ個体群の生息状況、被害実態などの現状把握と分析を行い、これらの情報に基づいて具体的な目標等を盛り込んだ第二種特定鳥獣管理計画を策定し、計画に基づく個体群管理を実施する。その後、生息状況や被害状況等のモニタリング結果に基づいて管理計画の見直しを行う。

大分県に生息する猪と鹿の生息分布の推移

JAPAN GIBIEA ACADEMY



日本初！ジビエ処理研修施設「日本ジビエアカデミー」が大分県宇佐市に5月16日(火)オープン

2023/05/11 10:00

プレスリリース



ジビエ処理加工を行う有限会社サンセイ(所在地：大分県宇佐市、社長：山末 成司)は、ジビエ処理研修に特化した「日本ジビエアカデミー」を2023年5月16日(火)にオープンいたします。



狩猟研修 箱ワナ くくりワナ設置

捕獲から消費までの主な流れ

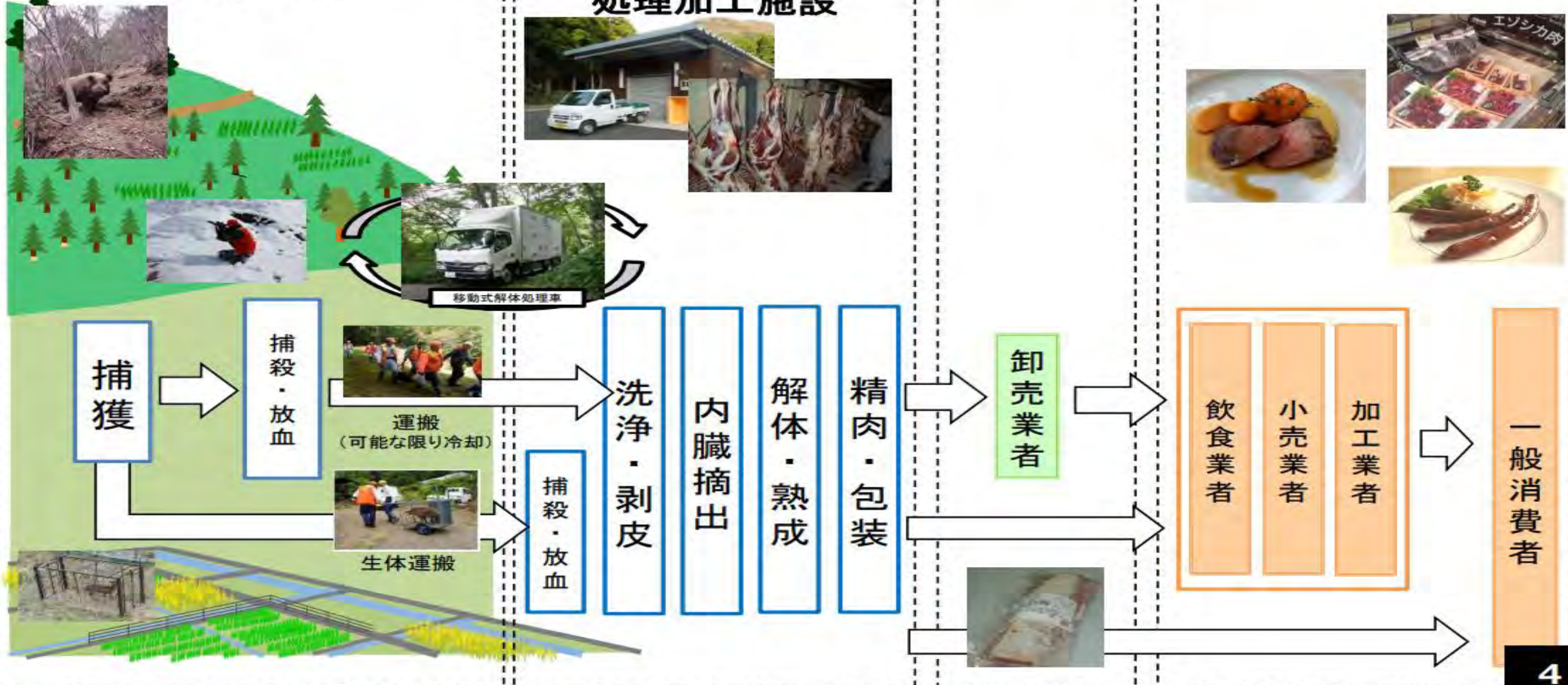
供給(捕獲～処理加工)

流通

需要(消費)

捕獲現場

ジビエ
処理加工施設





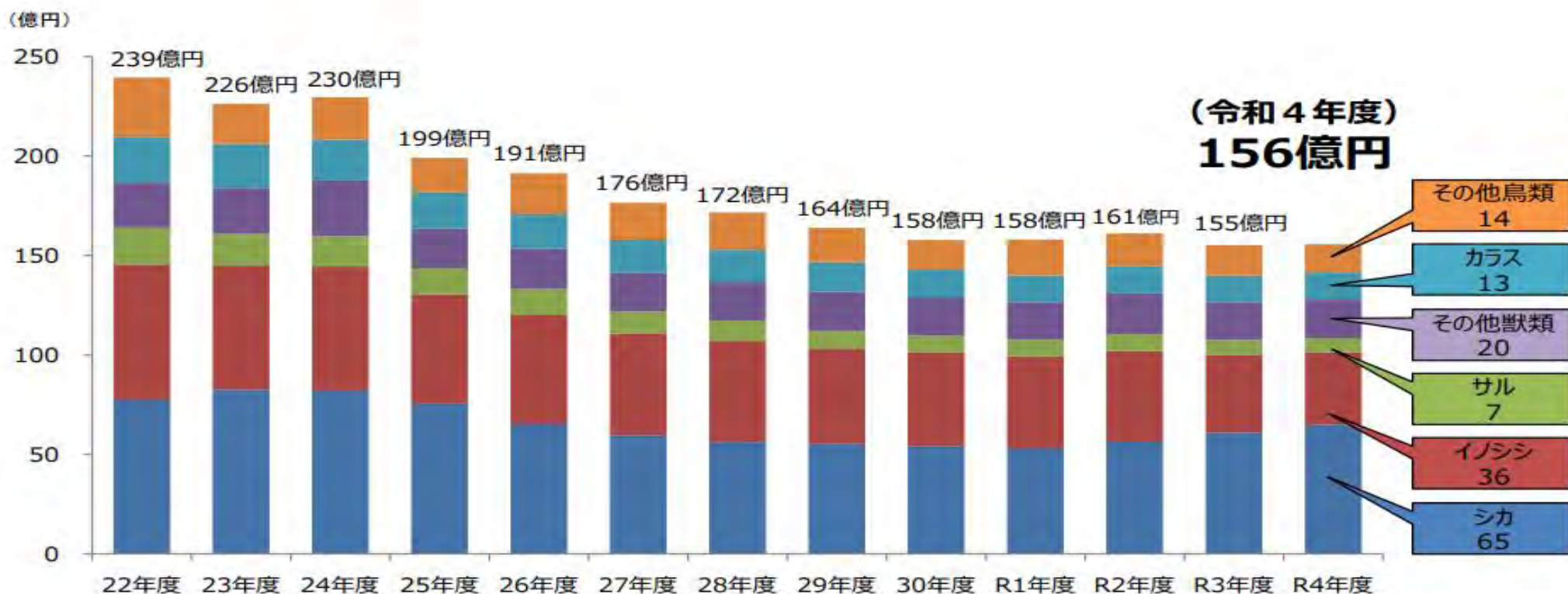
日本ジビエアカデミーでの解体処理実技 研修風景



野生鳥獣による農作物被害額の推移

- 野生鳥獣による農作物被害額は156億円（令和4年度）。全体の約7割がシカ、イノシシ、サル。
- 森林の被害面積は全国で年間約5千ha（令和4年度）で、このうちシカによる被害が約7割を占める。
- 水産被害としては、河川・湖沼ではカワウによるアユ等の捕食、海面ではトドによる漁具の破損等が深刻。
- 鳥獣被害は営農意欲の減退、耕作放棄・離農の増加、さらには森林の下層植生の消失等による土壌流出、希少植物の食害等の被害ももたらしており、**被害額として数字に表れる以上に農山漁村に深刻な影響を及ぼしている。**

農作物被害額の推移



農作物被害

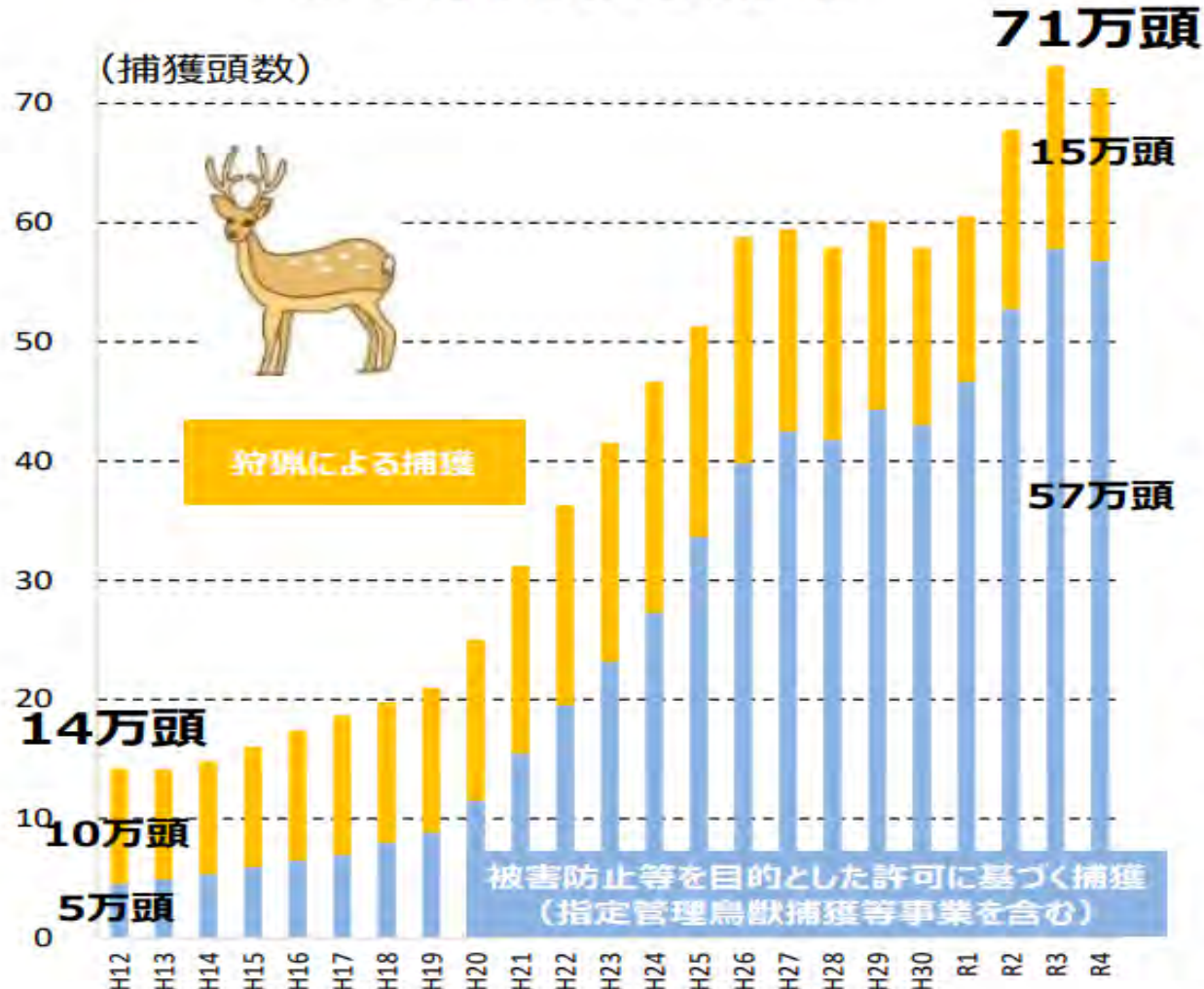


【出典】「全国の野生鳥獣による農作物被害状況について」（農林水産省）

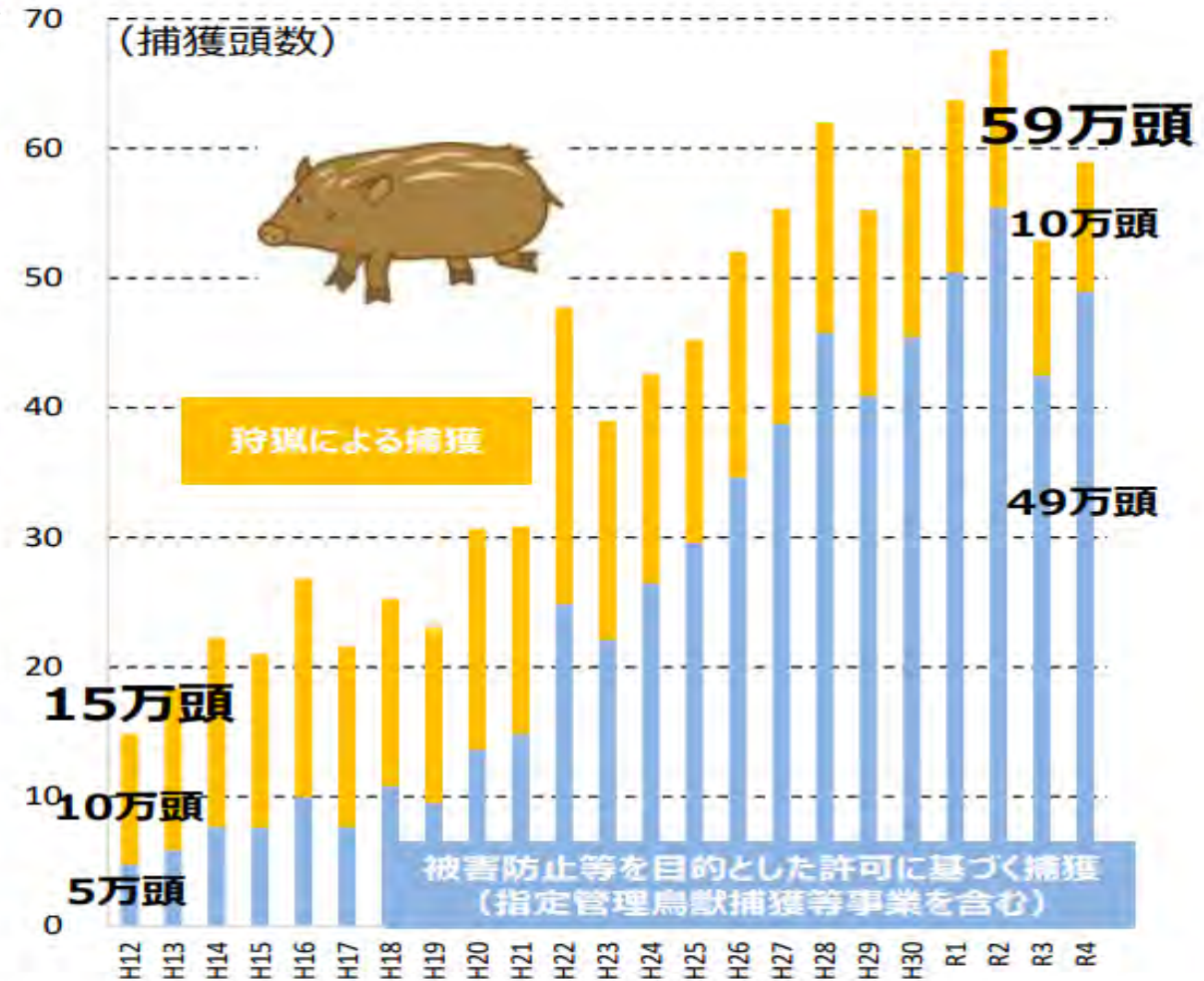
シカ・イノシシの捕獲頭数の推移

○ 近年では、被害防止等を目的とする捕獲が中心に行われ、シカ及びイノシシの捕獲頭数が大幅に増加。

○ シカの捕獲頭数推移



○ イノシシの捕獲頭数推移



※ シカは北海道のエゾシカを含む数値。

※ シカ及びイノシシのR4捕獲数は速報値（令和5年8月30日現在）。捕獲数の訂正等により今後変更があり得る。

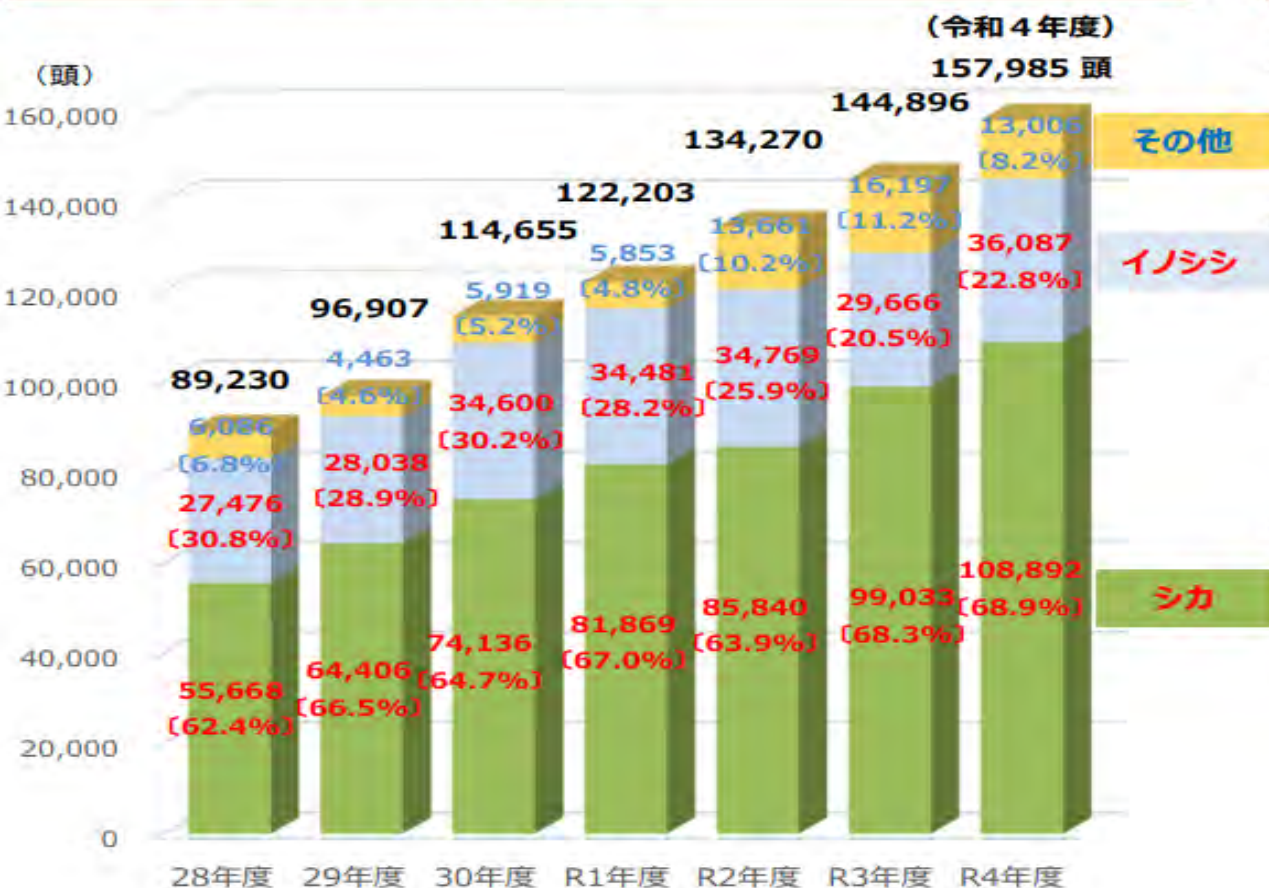
※ 四捨五入のため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。

（出典）「鳥獣関係統計」および「捕獲数及び被害等の状況等」（環境省）に基づき鳥獣対策室で作成。

捕獲された有害鳥獣のジビエ利用の実態

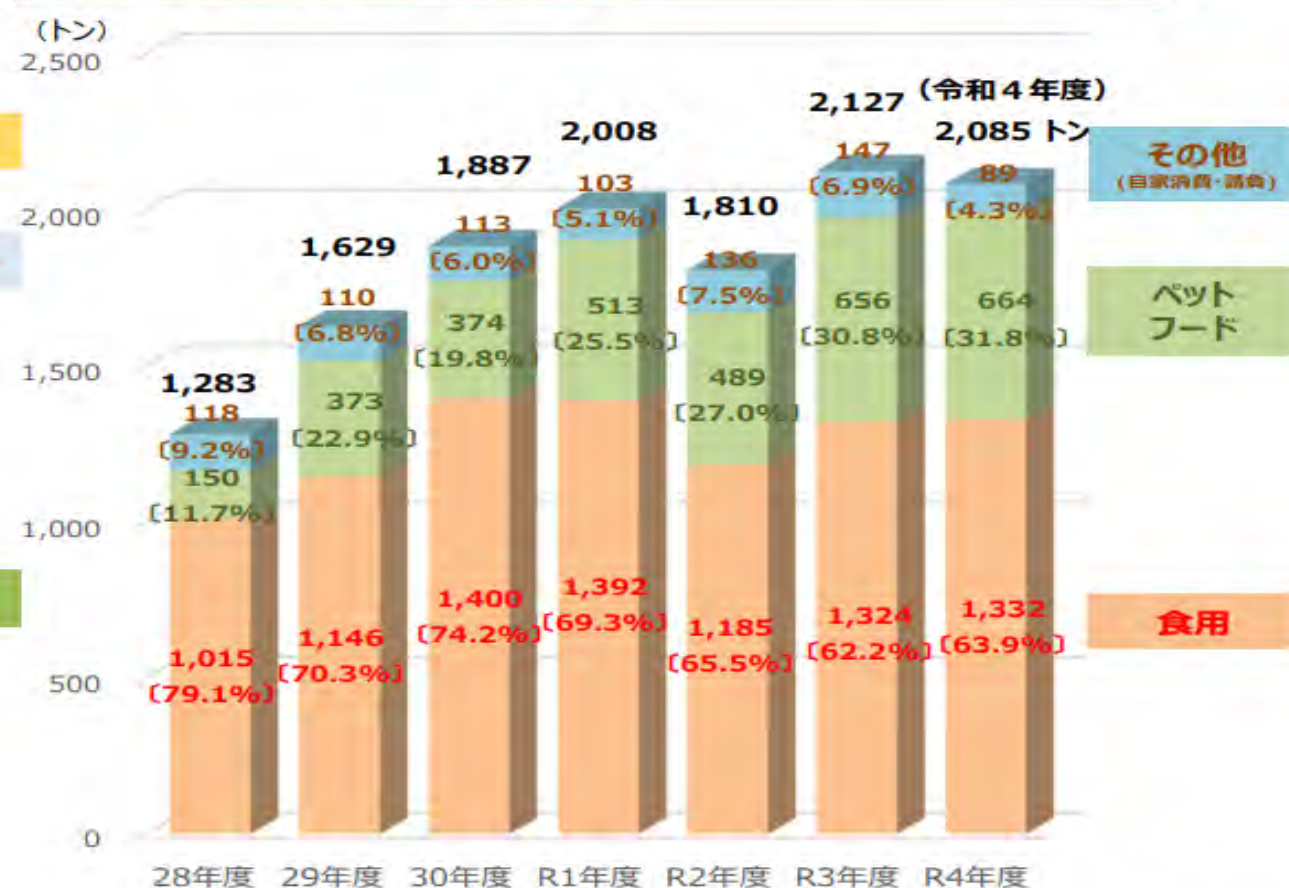
- 令和4年度に、全国の750処理加工施設において処理されたジビエ利用量は2,085トンであり、平成28年度と比べて1.6倍に増加。

1. ジビエ利用頭数の推移



〔出典〕野生鳥獣資源利用実態調査

2. ジビエ利用量の推移



〔出典〕野生鳥獣資源利用実態調査

活動実績 捕獲頭数 ジビエ関連売上推移

活動実績

項 目	単位	H30年度	R元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度 (見込み)
鹿 猪 合計	頭	2 7 4	3 7 1	※ 3 1 8	7 6 6	1 3 0 1	1 3 5 0
	解説： シビエ（鹿・猪）の年間処理頭数 合計						
鹿	頭	1 5 8	2 7 9	2 6 0	6 4 9	9 2 6	1 0 0 0
	解説： 鹿の年間処理頭数						
猪	頭	1 1 6	9 2	5 8	1 1 7	3 7 5	3 5 0
	解説： 猪の年間処理頭数						
シビエ関連売上高		8 1	3 9 4	9 5 4	2 6 4 6	3 2 1 0	4 0 0 0
	解説： 年々処理、加工技術が向上し売上が上がっている 単位：万円						

活動の主な変遷

初年度	H30年度	R元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
初年度は H30年	宇佐ジビエファ クトリーを開業 大分県ジビエ振 興協議会に参加	国産認証ジビエ事業 者6号になる 学校給食にジビエを 納入する	#元氣いただきま すプロジェクトの ジビエ部門で唯一 紹介される	農村白書にて紹 介される ジビエ教室や学 校社会科見学を 実施する	食べチョクア ワード（畜産 物）でジビエな がらトップ28 になる	日本ジビエアカ デミーを新設 10月29日を 獣肉（ジビエ） の日に制定

ジビエ事業の課題

①処理場不足で供給が少ない！

ジビエの処理施設は全国で約600。利用率が低く、処理能力が不足している。

②猪や鹿の捕獲数に対する利用率が低い。

猪や鹿の捕獲数に対する利用率が10%未満。

ハンターが捕獲しても、適切に処理されないケースが多く、利用出来ない。

③ジビエ製品の販路拡大

国内需要の拡大
海外展開必要。法整備。

④猟師系ジビエ処理場のレベルの低さと闇ジビエ問題。

無知な処理施設が動物臭がある不味い肉を流通させジビエの評判が悪くなる。

猟師が処理施設を通さず不衛生なジビエ食中毒の危険がある肉を販売。